

2-7.2_2

2) 見学旅行

1 材料・応用化学科(旧物質生命化学科)

卒業研究に着手する前の工学系3年生が、実際の化学系、バイオ系工場を見学することにより、化学と工業製品との関係、企業の研究環境を実際に目で見て学び、見識を広げることを目的として、学部3年生による工場見学を例年行っている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染の問題のために参加を希望する者、しない者の両者があると考えられ、また受け入れ企業側にも人数制限があることが判明したため、希望者を募って工場見学を実施した。本年度は、工学部からのインターンシップ経費の支援を得て、酒造メーカー(サントリー株式会社、瑞鷹株式会社)、および製薬メーカー(KMバイオロジックス株式会社)の2回の工場見学を、ともに日帰りで実施した。参加者はどちらも20名程度であった。

2 材料・応用化学科(旧マテリアル工学科)

・工場見学

本教育プログラムでは、毎年、学部3年生を対象として、学生個人がこれまでに修得した専門教育をさらに意義深いものにするために、材料に関連する企業工場見学を実施している。本年度は新型コロナウイルス感染症が蔓延している状況を考慮して、県内企業への日帰り対面工場見学(半日)とオンライン工場見学(半日)からなる2日間の工場見学プログラムを企画したが、対面工場見学はコロナウイルス感染者数の増加により中止となり、オンライン工場見学のみの実施となった。中止とはなりましたが対面工場見学を快くお引き受けいただきました不二ライトメタル株式会社の皆様、オンライン工場見学にご対応いただきましたDOWAホールディングス株式会社の皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

日程：2022年9月15日(木)～16日(金)

対象学年及び参加学生数：学部3年生43名

引率教職員：4名(山崎倫昭、眞山剛、志田賢二、庄崎雅裕)

日程及び見学先：

9月15日 不二ライトメタル株式会社(熊本県玉名郡長洲町)(取止)

9月16日 DOWAホールディングス株式会社(オンライン)

3 機械数理工学科(機械工学教育プログラム、機械システム教育プログラム、数理工学教育プログラム)

入学後、間もない1年生学生どうしの親睦を深めるため、機械数理工学科での今後の学び方の指針をえるため、また機械数理とSDGsの関わりについて学ぶ機会として、4月9日(土)に阿蘇周辺地域への研修旅行を実施した。高学年の学生を同伴させることで、機械数理工学科での学びおよびキャンパスライフについて大卒のイメージが取得できた。

4 土木建築学科(旧社会環境工学科)

4-1 土木建築学科(土木工学教育プログラム・地域デザイン教育プログラム)(3年生)

令和4年12月8日に土木建築学科(土木工学教育プログラム・地域デザイン教育プログラム)3年生の日帰り現地見学旅行を実施した。本見学は、代表的な土木構造物であるダム工事現場及びダムを生かしたまちづくりの現場とのふれあいを通じて、土木分野への理解を深める企画であり、参加者は学生78名、教員7名であった。見学においては、白川上流域に建設中の流水型ダム「立野ダム」の工事状況やダム所在地である南阿蘇村のまち振興計画に関する説明を、国土交通省九州地方整備局と南阿蘇村の担当者から頂いた後、来年竣工予定のダム工事現場や村の振興施設整備予定地への見学を実施した。参加者は、建設中のダム工事やまちづくりの現場を自分の目で確認し、土木分野の最前線で活躍されている行政や企業の方々と直接意見交換を行い、大変貴重な経験となった。また、コロナ禍の数年間、現地見学が実施されておらず、3年生にとってははじめての現地見学であり、大変好評であった。今後の学習意欲の向上につながったと期待される。なお、本見学は太田育英奨学金の支援を頂いた。

現地見学の詳細

日時:2022年12月8日(木) 13:00-17:00

交通手段: 大型バス(九州産交バス45-53名乗り)2台、公用車1台

集合場所:熊本大学工学部百周年記念館前 12:55 (時間厳守)

参加者:バス1 (張、学生42名)計43名

バス2 (星野、学生28名、教員4名、院生等8名) 計41名

公用車 (重石 1名)

行程:大学13:00-ダム工事事務所14:00 (見学) ダム工事事務所16:00-大学17:00

現地スケジュール

		バス1 (43名)		バス2 (41名)+公用車(1名)	
		Group1	Group2	Group3	Group4
14:00	14:05	グラウンド→広報室2階(徒歩)		グラウンド→テラス(バス)	
14:05	14:20	広報室2階(全体説明)		上流テラス	下流テラス
14:20	14:25			上流テラス⇔下流テラス(徒歩)	
14:25	14:40			下流テラス	上流テラス
14:40	14:50	広報室→テラス(バス)		テラス→広報室(バス)	
14:50	15:05	上流テラス	下流テラス	広報室2階(全体説明)	
15:05	15:10	上流テラス⇔下流テラス(徒歩)			
15:10	15:25	下流テラス	上流テラス		
15:25	15:35	テラス→仮設備ヤード(バス)		広報室→仮設備ヤード(バス)	
15:35	15:55	仮設備ヤード(現地説明)			
16:00		仮設備ヤード→大学 (解散)			

5 土木建築学科(旧建築学科)

4月に建築学教育プログラムに配属し、建築設計演習に取り組み始めた2年生を対象に、実際の建築物を体験することにより、建築設計に関する知識とセンスを深めることを目的として、くまもとアートポリスプロジェクトの建築を中心に、5月に見学研修を例年行っている。令和4年度は、2年生とともに、令和3年度に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて見学が中止となった本年度の3年生についても、見学研修を実施し、病欠等を除くほぼ全員が参加した。コロナウイルス感染に留意し、バスに分乗して、不知火美術館・博物館、天草ビジターセンターなど5箇所を見学した。意匠・構造・設備設計のポイントなどの説明を引率教員から受けながら、建築家の作品を実体験したことで、学生にとって今後の専門の講義や設計演習、研究活動に活かせるものと期待される。

6 情報電気工学科(旧情報電気電子工学科)

例年は九州コース・関東コースに分かれて企業訪問を行い、教員および技術職員が学生を引率する形式で行っていたが、2019年を最後に新型コロナウイルスの影響で対面での見学旅行は中止となっていた。R4年度は感染症が落ち着いたこともあり、11/2に(株)マイスティア、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)に対面形式での企業見学を行った。また、12/22には東京エレクトロン九州(株)にてZoomを通じたバーチャル見学ツアーを行った。11/2は8時45分に百周年記念館前集合とし、学生19名と引率教員2名が参加する形で午前マイスティア、午後ソニーセミコンダクタマニュファクチャリングを見学し、16時に熊本大学南キャンパスに戻った。各企業では会社案内、開発製品のデモ、熊本大学OBとの懇談を実施頂いた。また、参加学生に対して実施した事後アンケートでは、大多数の学生が「非常に役に立つ」と回答し、率直な感想やコメントを得ることが出来た。

以上のように、このような状況下においても、学生にとっても大きな刺激になったようである。技術者の声を聴くと同時に、進路選択のアドバイス等を頂く貴重な機会となり、今後の学習意欲の向上と進路設計、キャリアパス構築の大きな助けになるものと期待される。

7 機械数理工学科(旧数理工学科)

機械系との共同実施のため機械系の情報を参照されたい。